



# 消防大学校だより

## 救助科(第65期)

消防大学校では、平成24年4月16日から6月6日までの52日間、全国の消防本部等から選抜された救助業務の指導的立場にある職員60名が、救助科第65期に入校して共に学びました。

本科の教育目的は、救助業務に関する高度な知識及び技術の習得と、救助業務の教育指導者としての資質向上であり、特に、救助業務の管理者・指導者としての資質向上と、組織の幹部候補生として必要とされる知識や心構えの修得を主眼としました。

座学では、安全管理をはじめ、現場指揮、リーダーシップ論、救助行政の動向、NBC災害、救助技術の高度化、予防業務、火災調査、人事管理、教育技法、説得技法及

び接遇等、救助隊のリーダーとして必要不可欠な知識の習得に努めました。

実技では、教育指導演習、KYT訓練、指揮シミュレーション訓練、火災対応訓練、震災対応訓練、多数傷病者対応訓練、急流救助対策訓練、編みロープを使用した訓練及び学生企画総合訓練等から、救助隊リーダーとして身につけるべき基本技術を学びました。

特に今期から取り入れた教育指導演習では、学生が新人職員と教育職員に分かれ、模擬教育指導を実践して指導技法について研究しました。

また、実技全体を通じて、座学で学んだ安全管理理論を訓練で実践するため、「安全管理の実践」を目標に掲げ、危険な行動には迷わず笛を吹き確認する習慣を身につけました。

研修を終えた学生からは、「救助隊員の立場から管理者の立場へと転換していく時期であることを自覚することができた。」「今まで経験したことがない管理者として必要な分野への自己啓発のキッカケになった。」など、多くの前向きな意見がよせられました。

今後は、消防大学校で学んだ知識・技術をさらに深く学び、組織力強化と地域の安心と安全のため活躍することを期待します。



教育指導演習



指揮シミュレーション訓練



論文発表



## 危険物科(第7期)

消防大学校では、平成24年5月8日から6月6日までの21日間（教育訓練時間：143時間）にわたり、危険物科第7期の教育訓練を実施し、全国31都道府県から42名の学生が入校しました。

本科は、危険物業務に関する専門的な高度の知識及び技術を修得させ、危険物業務の教育指導者としての資質を向上させることを目的としています。

講義では、消防庁審議官や消防大学校長の講話のほか、消防庁危険物保安室長からは最近の危険物行政の動向、法令改正の趣旨や危険物の変遷等について、消防研究センター講師からは東日本大震災における各地の危険物施設の被害状況について学びました。また、危険物業務の指導者としての話し方技法及び危険物事業所への安全指導などの教育的な技法についても学びました。そして、各消防本部の課題となっております違反処理・書類作成要領及び模擬立入検査を実施し是正指導方法について学びました。

校外研修では、J X日鉱日石エネルギー根岸精油所、タツノメカトロニクス横浜工場及び東京消防庁消防技術安全所等に出向いて、大規模危険物施設、給油所の設備、危険物判定等について知識を深めました。

課題研究では、学生が日頃職場で抱えている問題を課



腐食・防食実験

題として班ごとに日夜討議を重ね発表を行い、活発な質疑や適切なアドバイスがなされました。

教育を終えた学生からは、「課題研究を進めていく中で、それぞれの問題点の把握、解決策の検討を行えたことは、今後の業務に大いに活かせると実感した。」「腐食・防食の実験では、今まで分かりにくかった土中の腐食の現象がよく理解できた。」などの意見がありました。

また、寮生活では各学生が寝食を共にし、42名が相互の友情を深めるとともに、危険物行政に携わる者同士としての絆を深めました。

今後は、消防大学校で得た知識、技術を十分に発揮して、地域の安心と安全のため更なる活躍が期待されます。



東京消防庁消防技術安全所



タツノメカトロニクス横浜工場